

【看護福祉リハビリテーション学部 福祉リハビリテーション学科 社会福祉専攻】カリキュラムマップ(2024年度入学生用)

授与する学位:学士(医療福祉学)		ディプロマ・ポリシー																
知識・理解	幅広い視野	DP1: 人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している																
		DP2: 社会福祉、精神保健福祉分野に関する適切な知識や理解、そして技術を有している																
		DP3: 幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる																
汎用的能力	基本的能力	DP4: 適切な日本語運用力を修得し、活用することができる																
		DP5: 母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる																
		DP6: 基礎的ICTの知識・スキルを修得し、適切に活用することができる																
態度・志向性	豊かな人間性	DP7: 数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる																
		DP8: 仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている																
		DP9: 多様性の尊重と共生の精神を有している																
	態度・志向性	DP10: 日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる																
		DP11: 高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる																
統合的な学習経験 と創造的思考力	応用的能力	DP12: 社会福祉・精神保健福祉分野の知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる																
		DP13: 社会福祉・精神保健福祉分野の知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している																
		DP14: 自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成をする力を備えている																
		DP15: 現代社会の諸問題を解決するために、社会福祉・精神保健福祉分野の知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる																
学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号															
			○: DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで															
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15	
包括的ヘルスケア論	包括的な視点で地域・在宅で生活している人々に対する保健・医療・福祉の施策の動向を学ぶ	1. 我が国の少子高齢化に伴う問題を理解する	○								○							
		2. 地域包括ケアの理論と制度を学ぶ	○								○		○					
		3. 地域包括ケアの実践を学ぶ				○							○			○		
生命倫理	人の生命の尊厳と基本的人権、尊厳死などについて学び、言語聴覚士として基本的倫理原則・倫理理論を学ぶ	1. 人としての命の尊厳と基本的権利を対人援助職の視点から理解できる				○					○					○		
		2. 対人援助職としての倫理原則、生命・医療倫理を理解している												○		○		
		3. 日常生活の場の問題解決を倫理的判断にもとじて考察できる				○							○				○	
ターミナルケア	ターミナル期の問題を理解し、現状を学んだうえで、いかにターミナル期の患者に向き合うかについて、学習する	1. ターミナル期の患者が抱える問題を理解する									○	○		○				
		2. ホスピス運動や緩和ケアの現在について理解する										○		○				
		3. コミュニケーションスキルや死生観(基本的な心構え)などを学ぶ	○								○		○					
専門職の連携(基礎)	医療福祉機関をはじめとした地域の生活者の支援に関わる職種役割を理解する	1. 取得を目指している資格は、他職種と連携し地域における包括的なヘルスケアシステムを担い、人の命を救う専門職としての資格であることを理解する				○										○		
		2. 地域における包括的なヘルスケアシステムを担う他の専門職を理解する											○		○			
		3. 他職種の視点を通して、将来についてのより明確な自己像を描けるようになる														○	○	○
専門職の連携(応用)	他職種との連携協働の実践を学習する専門職連携に関する発展的な科目であり、実践力のある専門職として就職するための総まとめ的な学習を行う	1. 他職種間での専門的かつ高度なコミュニケーションをはかれるようになる										○			○			
		2. 実例を取り上げることで、より具体的に実践的な援助方法を理解する														○		○
		3. 専門職としての自己意識を高め、資格取得に向けての意欲向上を目指す														○		
仏教と医療福祉Ⅰ	建学の精神に基づき、社会福祉やリハビリテーションの領域を「医療福祉」ととらえ、仏教と医療福祉の関係を考える。医療福祉の側面からは、その価値基盤と仏教信仰の調和的関係構築が課題となる。こういった仏教と医療福祉の協働について学ぶ。	1. 建学の精神に基づく対人援助の基本を理解する									○	○		○				
		2. 仏教と医療福祉の関係を理解する											○	○	○			
		3. 仏教と医療福祉の協働について理解する											○	○		○		
仏教と医療福祉Ⅱ	医療福祉の現場において対人援助を行う場合、仏教に基づく人権尊重の価値観は、援助の質に対して影響を与えるものである。より高い専門性を備えた対人援助職のあり方について、実際の事例を参考に学生同士の学び合いから理解を深めていく。	1. 仏教に基づく人権尊重の価値観を修得する									○	○		○				
		2. 高い専門性を備えた対人援助職のあり方を理解する										○	○		○			
		3. 実際の事例から学生の学び合いを通して専門職間の連携を理解する											○	○		○		
医療福祉連携論	近年、医療から介護制度を含む福祉へのシームレスな連携が求められている。医療と福祉について理解を深め、それらの連携の実態と理想を学ぶ	1. 医療の実態について理解する				○											○	
		2. 福祉の実態について理解する												○				○
		3. 医療と福祉との連携の実態と理想を理解する												○				○
日常生活支援学	ADLの概念、リハビリテーション医学における重要性を学び、日常生活活動の範囲・より幅広い日常生活関連動作や、QOLなどの概念との関係も理解し、対象者の日常生活を支援する専門職としての視点を学ぶ。	1. ADL・APDL・IADL・QOLの概念や範囲を説明できる。															○	
		2. ICDH、ICFについて説明できる。																○
		3. 人の生活におけるADLとその他の活動との関係性重要性を説明できる。																○
地域災害リハビリテーション	災害時の医療活動が行政の中で、どのように位置づけられるのかを理解できる。また、災害時のリハビリテーション支援活動における作業療法士の役割を理解する。	1. 災害時のリハビリテーション支援が行政の中でどのように位置づけられるのかを理解できる。																
		2. 災害フェーズに合わせたリハビリテーション支援のあり方を説明できる。																
		3. 災害時のリハビリテーション支援活動における作業療法士の役割を理解する。																
障害者福祉	社会福祉士及び精神保健福祉士として、障害者福祉サービスのこれまでの歴史、社会政策を通して、現代の障害者福祉の意義と課題について習得できるようにする	1. わが国の障害者に関する歴史と施策に関して理解し、必要な行動がとれる				○									○	○		
		2. 障害者に対する福祉サービスの種類、目的、その効果について理解し専門職を目指す者として活用できる															○	○
		3. 障害者福祉サービスと他の福祉サービスと比較し、総合的に理解できる															○	○
子どもと社会福祉	社会の将来を担うのは子ども達だが、昨今では、子どもをめぐる複雑な事件や数々の社会問題が顕在化している。虐待、貧困、社会的養育、医療的ケアの不足、また養育所の待機児童問題など、課題は山積している。ここでは、社会福祉専攻で学ぶ礎として、子どもと社会福祉に関する基礎事項を実践的に学ぶ	1. 子どもが健全に暮らすために求められることは何かを知る				○							○		○			
		2. 子どもをめぐる社会問題に気づき、その実態を知る																
		3. 子どもの暮らしを支える制度や地域の取り組みを学ぶ																○
基礎演習Ⅰ	20人程度のクラスで、社会福祉の現状、日常生活(体験)等から社会福祉的課題に気づき、社会福祉的なものの考え方や感覚を学ぶ。福祉現場の見学、当事者・家族の話を聴くことで、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても基本的な学習を行う	1. 社会福祉の意義と価値について理解する										○		○	○			
		2. 社会福祉専門職の役割について理解する														○	○	
		3. 自らの社会福祉的な考え方について検証を行う				○	○									○		
基礎演習Ⅱ	20人程度のクラスで、社会福祉の現状、日常生活(体験)等から社会福祉的課題に気づき、社会福祉的なものの考え方や感覚を学ぶ。福祉現場の見学、当事者・家族の話を聴くことで、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても基本的な学習を行う	1. 社会福祉の意義と価値について理解する										○		○	○			
		2. 社会福祉専門職の役割について理解する														○	○	
		3. 自らの社会福祉的な考え方について検証を行う															○	
社会福祉の原理と政策Ⅰ	福祉制度の意義・理念、福祉の原理をめぐり理論・哲学とを説明できる。現代の社会問題の特性について理解できる	1. 社会福祉の原理をめぐり思想・哲学と理論を説明できる。				○							○					
		2. 社会福祉の歴史的展開の過程と欧米の比較によって特性を説明できる。																
		3. 社会福祉の発展から現代の社会問題について説明できる。																
社会福祉の原理と政策Ⅱ	福祉政策の基本的視点、概念・理念、構成要素、福祉政策とその課題について学び、包括的支援や福祉サービス供給過程について理解できる	1. 福祉政策の基本的視点と概念・理念を説明できる				○	○						○					
		2. 福祉政策の構成要素について説明できる																
		3. 福祉政策と包括的支援について説明できる																

学科目	科目の主題	科目の関連目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			○：DP達成のために設定された関連目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
基礎演習Ⅲ	Ⅰ、Ⅱに続いて、社会福祉の現状、日常生活(体験)等から社会福祉の課題に気づき、社会福祉的なものの考え方や感覚を学ぶ。見学やゲストの話を聞くことで、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても修得する。	1. 現代社会の多様な社会福祉の現状と課題について自ら考察する		○	○									○			
		2. 考え、気付いた事柄について適切にまとめ、発表する				○		○	○								
		3. 社会福祉の専門職の役割について、深く考えることができる		○												○	○
基礎演習Ⅳ	Ⅰ、Ⅱに続いて、社会福祉の現状、日常生活(体験)等から社会福祉の課題に気づき、社会福祉的なものの考え方や感覚を学ぶ。見学やゲストの話を聞くことで、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても修得する。	1. 現代社会の多様な社会福祉の現状と課題について自ら考察する		○	○									○			
		2. 考え、気付いた事柄について適切にまとめ、発表する				○		○	○								
		3. 社会福祉の専門職の役割について、深く考えることができる		○												○	○
心の健康と社会福祉	本講では心の健康を害することがある人間関係などのストレス場面、自然災害や過重労働による心的外傷など現代社会が抱える課題について社会福祉の視点から捉え、その解決・取り組みについて考える機会とする。また授業の中で心の健康を度つために自分のストレスマネジメントについて学ぶ。	1. 現代社会が抱える問題について理解する								○		○					○
		2. 現代社会の問題を社会福祉の視点から捉え、その解決・取り組みを理解する										○	○				
		3. 自分のストレスマネジメントについて理解する								○	○		○				
保健医療と福祉	保健医療の動向、政策、制度、サービスを知り、保健医療領域の社会福祉士の役割と連携や協働について理解する	1. 保健医療の動向を説明できる。			○				○								○
		2. 保健医療に係る政策、制度、サービスについて説明できる。		○										○	○		
		3. 保健医療領域の社会福祉士の役割や支援の在り方について説明できる。		○												○	○
精神保健福祉制度論	精神保健福祉法等に関する法制度の概要を課題の理解、制度に規定される精神保健福祉士の役割について理解する。生活保護制度、生活困窮者支援制度に関する精神保健福祉士の役割を理解する。障害者に関する制度とその境界や課題を理解する。	1. 精神保健福祉法等に関する法制度の概要と課題の理解、制度に規定される精神保健福祉士の役割について説明できる												○	○		
		2. 生活保護制度、生活困窮者支援制度に関する精神保健福祉士の役割について説明できる				○										○	○
		3. 障害者に関する制度とその境界や課題について説明できる				○										○	○
社会福祉専門演習Ⅰ	社会福祉の現実を見聞きすることや、学生の日常生活(体験)等から社会福祉の課題を見つける訓練を中心に、社会福祉的なものの考え方の基本や社会福祉的な感覚を学ぶ。具体的には様々な現場を見学する。現場ワーカーや当事者・家族の話を聴く、ボランティアと交流する。ビデオ教材等を積極的に用いる等の方法を駆使して、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても基本的な訓練をする	1. 現代社会における社会福祉の表象について考察する		○	○			○									
		2. 生活の中の社会福祉の役割について様々な現象から検証する				○		○									
		3. 現存する社会福祉サービスの機能について検証する		○	○			○									
社会福祉専門演習Ⅱ	社会福祉の現実を見聞きすることや、学生の日常生活(体験)等から社会福祉の課題を見つける訓練を中心に、社会福祉的なものの考え方の基本や社会福祉的な感覚を学ぶ。具体的には様々な現場を見学する。現場ワーカーや当事者・家族の話を聴く、ボランティアと交流する。ビデオ教材等を積極的に用いる等の方法を駆使して、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても基本的な訓練をする	1. 現代社会における社会福祉の表象について考察する		○	○			○									
		2. 生活の中の社会福祉の役割について様々な現象から検証する				○		○									
		3. 現存する社会福祉サービスの機能について検証する		○	○			○									
医学知識	高齢者、障害者等を支援、援助する際に必要な保健・医療の知識を習得し、心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の発病について、人の成長や発達、日常生活との関係をも踏まえ理解する	1. 人の身体構造と心身機能について説明できる		○													
		2. ライフステージにおける心身の変化と健康・疾病のとりえ方を説明できる													○		
		3. 疾病と障害の成り立ち、健康課題を解決するための対策について説明できる				○											○
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の意義と目的、について理解する。また調査結果の整理と評価の意義・方法について理解する	1. 社会福祉調査の意義と目的について説明できる			○												
		2. 社会調査には量的調査と質的調査があり、どのような場合にそれを適用することができるかを理解できる														○	
		3. 尺度、科学的な方法、仮説といった社会調査のための基礎知識が説明できる				○				○							○
ソーシャルワークの基盤と専門職	社会福祉士と精神保健福祉士の役割と意義、ソーシャルワークの考え方と形成過程、倫理規範と倫理について理解する	1. 社会福祉士と精神保健福祉士の法的な位置づけについて説明する			○											○	○
		2. ソーシャルワークの基盤となる考え方と形成過程について説明できる			○						○				○		
		3. ソーシャルワークの価値規範と倫理について説明できる			○						○				○		
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲、対象と関連性について理解する。社会福祉士の領域と役割について理解し、総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する	1. 社会福祉士に求められる役割について説明できる			○										○		○
		2. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲、対象について説明できる				○										○	
		3. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携意義と内容について説明できる			○											○	○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	ソーシャルワークの理論や概念とそれに係る知識と技術について理解する	1. ソーシャルワークの過程とそれに係る知識、技術について説明できる			○											○	○
		2. ソーシャルワークの概念とその展開について説明できる				○									○		○
		3. 人と環境の相互作用について説明できる													○		○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	ソーシャルワークの実践モデルとそれぞれのアプローチについて理解できる。ソーシャルワークのスーパービジョンについて理解できる。	1. ソーシャルワークの実践モデルについて説明できる			○											○	○
		2. ソーシャルワークの様々なアプローチについて説明できる				○										○	○
		3. ソーシャルワークのスーパービジョンについて説明できる														○	○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	実践的かつ効果的なソーシャルワークの理論と方法を理解する。援助関係の形成やニーズ掘り起しのための知識と技術を理解する	1. 社会福祉士として多様化・複雑化する課題を説明できる			○											○	○
		2. 実践的かつ効果的なソーシャルワークの理論と方法について説明できる														○	○
		3. 支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズ掘り起しのための知識と技術について説明できる				○										○	○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	社会資源の活用、開発、ソーシャルアクションについて理解する。事例分析の意義や方法を理解する。	1. 社会資源の活用、開発、ソーシャルアクションについて説明できる														○	○
		2. 個別の事例の具体的な解決策および汎用性について説明できる				○										○	○
		3. 事例分析の意義や方法を説明できる															○
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向を理解する。地域福祉の主体と対象を理解する。地域福祉行政の体制と役割を理解する	1. 地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について説明できる			○									○	○		
		2. 地域福祉の主体と対象について説明できる													○	○	
		3. 地域福祉行政の体制と役割について説明できる													○	○	
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	福祉計画の意義・目的、展開を理解する。包括的支援体制と多職種連携の意義について理解する。その中での社会福祉士、精神保健福祉士の役割を理解する	1. 福祉計画の意義・目的、展開について説明できる													○		○
		2. 包括的支援体制と多職種連携の意義について説明できる				○										○	○
		3. その中での社会福祉士、精神保健福祉士の役割について説明できる														○	○
社会福祉専門演習Ⅲ	基礎的な専門的学習及び見学やボランティア活動等で得た知識や見聞・体験あるいは社会福祉的な感覚をベースに、10人程度のクラスで、自分の選んだ具体的な社会福祉課題について、総合的でダイナミックな理解を深めるとともに、それらに対する社会福祉的取り組みの基本的なあり方を学ぶ。そのために個人、あるいはグループでのリサーチとプレゼンテーション、そしてクラス全体での積極的なディスカッションやディベートを展開する	1. 基礎的な社会福祉に関する理解を深め、より専門的に社会福祉前線について検証を行う			○					○							
		2. 自らの社会福祉分野の関心について、より深く学習を行う				○					○						
		3. 卒業論文のテーマとして関連する書籍、資料を検証する				○						○					
社会福祉専門演習Ⅳ	Ⅰに続き通年実習も経験して、自分の進路を考えた上での卒業研究に取組む最終学年での演習として、コミュニティ福祉と産業福祉という21世紀の社会福祉に相応しい領域の中から自分らしいテーマを選び、演習での活発な討論を重ねながら、自分らしい視点、方法、そして表紙で研究を進めているがこの演習の課題である	1. 実習を通じて体験した事例、社会福祉の視点からまとめる			○												
		2. 自らの社会福祉分野の関心について、より深く学習を行う				○						○					
		3. 卒業論文のテーマとして関連する書籍、資料を検証する				○							○				

学習科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号															
			O・DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1～3の達成項目に示して最大3個まで															
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15	
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	現代の精神保健分野の動向と課題を理解する。精神保健の基本的な考え方を理解する。生活環境ごとの精神保健福祉士の役割を理解する。	1. 現代の精神保健分野の動向と課題について説明できる		○												○		
		2. 精神保健の基本的な考え方について説明できる			○											○		
		3. 生活環境ごとの精神保健福祉士の役割について説明できる				○										○		
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	高齢者の特徴をふまえ、高齢者とその家族を取り巻く社会環境について理解する。高齢者福祉の歴史と発展過程、法制度を理解する。社会福祉士としての支援について理解する	1. 専門機関・専門職の連携について説明できる			○											○		
		2. 精神保健の保持・増進、発生予防の支援について説明できる				○											○	
		3. 海外の精神保健の現状と対策を説明できる					○										○	
精神保健福祉の原理Ⅰ	障害者福祉の基本的枠組みを理解する。精神障害者の定義、構造的理解、生活実態を理解する。精神疾患や精神障害を持つ当事者に対する価値観を体得する	1. 障害者福祉の基本的枠組みについて説明できる			○											○		
		2. 精神障害者の定義、構造的理解、生活実態について説明できる				○	○						○					
		3. 精神疾患や精神障害を持つ当事者に対する価値観について説明できる									○		○	○				
精神保健福祉の原理Ⅱ	精神保健福祉士の存在意義と職業的アイデンティティを理解する。精神保健福祉士の倫理綱領に基づく職業を理解する。精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する	1. 精神保健福祉士の存在意義と職業的アイデンティティについて説明できる													○	○	○	
		2. 精神保健福祉士の倫理綱領に基づく職業について説明できる													○		○	
		3. 精神保健福祉士の職域と業務特性について説明できる						○						○			○	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解する。その家族の支援について理解する。多職種・多機関との連携方法と精神保健福祉士の役割を理解する	1. 精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程について説明できる				○									○	○	○	
		2. その家族の支援について説明できる					○								○	○		
		3. 多職種・多機関との連携方法と精神保健福祉士の役割について説明できる						○									○	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	組織運営管理、組織介入、組織活動の展開について理解する。個別支援からソーシャルアクションまでの展開過程を理解する。他分野での精神保健福祉士の実践を理解する	1. 組織運営管理、組織介入、組織活動の展開について説明できる														○		
		2. 個別支援からソーシャルアクションまでの展開過程について説明できる						○								○	○	
		3. 他分野での精神保健福祉士の実践について説明できる							○							○		
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーションの概念、理論や知識を援助場面で活用できる。そこでの精神保健福祉士の役割を理解する。	1. 精神障害リハビリテーションの歴史、経緯について理解する				○										○		
		2. 精神障害リハビリテーションの知識と援助方法について説明できる					○									○		
		3. 精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割について説明できる						○								○		
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	ソーシャルワークの論理的な判断能力を養い、分野横断的な総合かつ包括的な支援について実践的に理解する。	1. ソーシャルワークの論理的な判断能力について説明できる					○									○	○	
		2. 分野横断的な総合かつ包括的な支援について説明できる						○								○	○	
		3. 分野横断的な総合かつ包括的な支援について実践できる							○							○	○	
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	地域アセスメントや評価の仕組みを実践していく。ミクロ・メゾ・マクロの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する	1. 地域アセスメントや評価の仕組みを実践できる														○	○	
		2. ミクロ・メゾ・マクロの対象と展開過程を説明できる							○							○		
		3. 実践モデルとアプローチについて実践できる								○							○	
ファミリーソーシャルワーク論	家族という枠組みでケースを捉え、家族を理解し、家族のよりよい収束をつくり出すソーシャルワークについて学ぶ。家族の構図を読み解き、変化を起こす実践方法を身に付け、家族が抱えるさまざまな課題とその支援について学習する。また、システム論、家族の構造理論、エコロジカルな視点に基づく視点からマッピング技法(ジノグラム、エコマップ)を駆使した事前・事後学習により、広く人間理解と対人援助技術の習得が達成できるよう知識の定着を図る。	1. 家族のより良い状況を創るソーシャルワークを理解する				○										○		
		2. 家族の抱える様々な課題とその支援について理解する					○										○	
		3. 家族支援に必要な対人援助技術を修得する															○	
認知症の作業療法	認知症高齢者を含めた虚損・障害高齢者に対する作業療法の概要と評価を理解する。認知症の臨床像とこれからの作業療法のあるべき役割について学ぶ。	1. 認知症について説明出来る。					○									○	○	
		2. 認知症の作業療法評価を理解し、対応を学ぶ。						○								○	○	
		3. 認知症の作業療法の役割について説明できる。							○							○	○	
子どもの作業療法	小児領域に携わる作業療法士がどのような子どもの作業療法を実施しているかについて学ぶ。	1. 子ども生活動作について理解できる。						○								○	○	
		2. 子ども作業療法について説明できる。							○							○	○	
		3. 子ども作業療法に参加し、実践してみる								○						○	○	
社会的養護Ⅱ	子どもの理解を踏まえ、社会的養護の基礎的な内容を具体的に理解する。また、施設養護と家庭養護の実態、計画・記録・自己評価の実施、相談援助の方法・技術について、そして、子ども虐待防止と家庭支援について理解する。	1. 社会的養護における児童の権利擁護や保育などの倫理について具体的に学ぶ															○	
		2. 施設養護及び他の社会的養護の実態について学ぶ															○	
		3. 個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等の内容について具体的に学ぶ															○	
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	実習で体験した事例について、研究方法を理解する。スーパービジョンについて体験的に理解する。	1. 実習で体験した事例をもとに事例検討を行い、その意義や方法が説明できる																
		2. 事例研究が説明できる																
		3. 実践の質の向上を図るスーパービジョンを体験し説明できる															○	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	ソーシャルワーク実習に向けて実習の意義を理解する。社会福祉士として求められる役割や専門職の姿勢について理解する	1. ソーシャルワーク実習の意義、目的について説明できる														○	○	
		2. 社会福祉士に求められる役割を説明できる														○	○	
		3. 価値と理論に基づく専門職としての姿勢について説明できる													○			
ソーシャルワーク実習指導ⅡA	ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的な知識的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する	1. ソーシャルワークに係る知識について説明できる														○	○	
		2. ソーシャルワークに係る技術について説明できる														○	○	
		3. ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を説明できる														○	○	
ソーシャルワーク実習指導ⅡB	実習で得た体験や援助活動を専門的援助技術として理論化した総合的な能力を涵養する	1. 実習で得た体験や援助活動を専門的援助技術として理論化について説明できる														○	○	
		2. 総合的な能力について説明できる														○	○	
		3. ソーシャルワーク実習の内容をまとめ、発表できる														○	○	
ソーシャルワーク実習A	社会福祉士としての支援を理解し支援を必要とする人や地域の状況を探知し、社会資源等を活用した支援計画の作成、実施、評価について理解する	1. 社会福祉士としての支援について説明できる														○	○	
		2. 支援を必要とする人や地域の状況について説明できる														○	○	
		3. 社会資源等を活用した支援計画の作成、実施、評価について説明できる														○	○	
ソーシャルワーク実習B	施設・機関等が地域の中で果たす役割について実践的に理解する。総合的かつ包括的な支援における多職種連携、地域住民との連携の具体的な在り方について実践的に理解する	1. 施設・機関等が地域の中で果たす役割について実践できる														○	○	
		2. 総合的かつ包括的な支援における多職種連携の具体的な在り方について実践できる														○	○	
		3. 総合的かつ包括的な支援における地域住民との連携の具体的な在り方について実践できる														○	○	
精神保健福祉演習Ⅰ	ソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性の基礎を養得する	1. 精神保健福祉場面における対人援助の理論について理解する														○	○	
		2. 精神保健福祉援助場面における技術を習得する														○	○	
		3. 精神保健福祉援助場面において適切な援助関係が構築できる														○	○	
精神保健福祉演習Ⅱ	精神障害や精神疾患の課題解決に向けて、制度やサービスを活用できるようにする。本人を中心としたチーム運営での援助をコーディネートできるようにする	1. Iで習得した知識・技術を活用して、具体的な事例に対応する														○	○	
		2. 臨床場面における援助事例を理解する														○	○	
		3. 精神保健福祉士としての援助場面における価値・倫理をまとめる														○	○	
精神保健福祉演習Ⅲ	精神保健福祉士として政策や制度、関係行政や地域住民に働きかけについて説明できる。職業アイデンティティの構築ができる	1. 共生社会に向けた精神保健福祉士の役割について説明できる														○	○	
		2. 精神保健福祉士として政策や制度、関係行政や地域住民に働きかけについて説明できる														○	○	
		3. 職業アイデンティティの構築について説明できる														○	○	

学科目	科目の主題	科目の関連目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			○：DP達成のために設定された関連目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
精神保健福祉実習指導Ⅰ	精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的なかつ実践的に理解、学習する。精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得する。 実習での体験、援助活動を、専門的援助技術として概念化、理論化し体系立てて考察していく能力を涵養する	1. 実習施設の機能と精神保健福祉援助における役割について理解する		○										○	○		
		2. 対人援助場面における対応に必要な知識・技術の確認		○											○		○
		3. 実習施設について、具体的資料などから理解を深める		○					○						○		
精神保健福祉実習指導Ⅱ	精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的なかつ実践的に理解、学習する。精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得する。 実習での体験、援助活動を、専門的援助技術として概念化、理論化し体系立てて考察していく能力を涵養する	1. 実習施設の機能と精神保健福祉援助における役割について理解する		○										○	○		
		2. 対人援助場面における対応に必要な知識・技術の確認		○											○		○
		3. 実習施設について、具体的資料などから理解を深める		○	○										○		
精神保健福祉実習A	精神保健福祉士が知識と技術を生かして、専門職として役割を果たすには何が重要なのかを現場から学び、さらに現場精神保健福祉士として必要な知識および技術・関連知識を、現場体験を通して具体的に理解を深め習得することを目的とする	1. 実習先の利用者や職員との基本的な関係を築く		○										○		○	
		2. 実習先の利用者の課題を理解する		○									○				○
		3. 実習先の精神保健福祉士の役割を理解する		○										○			○
精神保健福祉実習B	精神保健福祉士が知識と技術を生かして、専門職として役割を果たすには何が重要なのかを現場から学び、さらに現場精神保健福祉士として必要な知識および技術・関連知識を、現場体験を通して具体的に理解を深め習得することを目的とする	1. 実習先の利用者に対して個別支援計画を策定する		○										○		○	
		2. 実習先での他職種間との連携、地域との関係について理解する		○													○
		3. 実習計画書にあげた実習目的を達成する		○											○		○